

議題研析

一、題目：國會改革議題-日本國會警察權之相關法制簡介

二、議題所涉法規

立法院組織法、立法委員行為法

三、背景說明

(一)依日本憲法規定，國會是國家最高權力機關，且是唯一的立法機關¹，由眾議院及參議院組成²，均由代表全體人民的民選議員組成³。於權力分立制度下，為避免行政權掌控警察力量有侵害立法權之虞，將原隸屬於行政權下且受行政權指揮命令之警察權力，改隸於立法權之下，並交由國會主席指揮，以排除國會外來侵擾，並維持國會議事秩序及院區安全，藉以達成國會自律⁴。

(二)有學者指出，國會議長可以行使強制力排除妨害國會運作者，即國家將維持紀律的警察權力，移交一部分到國會中，使國會設置的警察權能獨立於國家警察權力體系外，受國會自行指揮。國家警察權力，在未得國會同意時，不能進入國會進行搜索或扣押，或進行其他任務(如巡邏、偵查)，但如有緊急事故(如火災、救助傷患)不在此限⁵。基於這樣的理念，國會警衛及秩序維護工作非由行政機關所轄的警察單位負責，而是由各議院以議會自律原則行使國會警察權。日本國會警衛及治安維持工作由參、眾議院

¹ 日本國憲法第 41 條規定：「国会は、国権の最高機関であつて、国の唯一の立法機関である。」

² 日本國憲法第 42 條規定：「国会は、衆議院及び参議院の両議院でこれを構成する。」

³ 日本國憲法第 43 條第 1 項規定：「両議院は、全国民を代表する選挙された議員でこれを組織する。」

⁴ 王政中，《立法院秩序維護的歷史考察-以國會警察權為中心》，國立雲林科技大學科技法律研究所碩士論文，107 年 6 月，頁 14。

⁵ 陳新民，《中華民國憲法釋論》，三民書局，90 年，頁 565。

事務局衛視⁶及警察負責，同受國會議長指揮命令執行職務⁷。

四、探討研析

(一) 日本國會議長透過指揮衛視及警察來行使國會警察權

日本國會警察權規定於國會法第 14 章「紀律及警察」，依國會法第 114 條⁸規定，國會議長為維持會議期間各議院之紀律，得依據本法及各議院所制定之規則，行使內部警察權。休會期間亦同。同法第 115 條規定，各議院必要之警察官由內閣應議長請求派出，並受議長指揮⁹。參議院規則第 217 條及眾議院規則第 208 條¹⁰亦明定，議長指揮衛視及警察，行使議院內部之警察權。參議院規則第 218 條及眾議院規則第 209 條¹¹亦明定，衛視執行議事堂內部警衛、警察執行議事堂外部警衛，但議長認為必要時得命警察進入議事堂¹²執行警衛職務。因此，議事堂內由衛視執行警衛職務，議事堂外則由警察執行警

⁶「衛視」為日本國會警衛之漢字，為忠於日文原意且為與日本警察有所區隔，本文沿稱「衛視」。衛視隸屬於參議院及眾議院事務局之警務部，屬於參議院及眾議院職員，身分為國家特聘公務員，權利義務與在行政機關任職之公務員相同。職務內容主要為參議院與眾議院警衛工作及維持治安，須為全體國會議員提供安全保護，執行參議院及眾議院防災消防工作，乃至於提供外賓導覽服務。衛視招考、訓練及任用程序皆由參議院、眾議院事務局獨立辦理，與日本警察任用程序不同。目前參議院約有 200 名衛視，執行警衛工作及維持治安工作。日本參議院資料網址：https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/saiyou/pamphlet_eishi/24pamphlets.pdf，最後瀏覽日期：113 年 2 月 5 日。

⁷ 王政中，同註 4，頁 14。陳春林，〈議會警察權〉，《警學叢刊》，第 24 卷第 1 期，頁 255，82 年 9 月。

⁸ 国会法第 114 條規定：「国会の会期中各議院の紀律を保持するため、内部警察の権は、この法律及び各議院の定める規則に従い、議長が、これを行う。閉会中もまた、同様とする。」

⁹ 国会法第 115 條規定：「各議院において必要とする警察官は、議長の要求により内閣がこれを派出し、議長の指揮を受ける。」

¹⁰ 參議院規則第 217 條規定：「議長は、衛視及び警察官を指揮して、議院内部の警察権を行う。」眾議院規則第 208 條規定：「議長は、衛視及び警察官を指揮して議院内部の警察権を行う。」

¹¹ 參議院規則第 218 條規定：「(第 1 項)衛視は、議院内部の警察を行う。(第 2 項)警察官は、議事堂外の警察を行う。但し、議長において特に必要と認めるときは、警察官をして議事堂内の警察を行わせることができる。」眾議院規則第 209 條規定：「衛視は、議院内部の警察を行う。警察官は、議事堂外の警察を行う。但し、議長において特に必要と認めるときは、警察官をして議事堂内の警察を行わせることができる。」

¹² 有關日本國會議事堂、議院及議場介紹如下，日本國會「議事堂」位於東京都千代田區永田町一丁目，竣工於 1936 年(昭和 11 年)，係白色中央高塔且左右長方對稱之建築，中央部分突起如金字塔尖頂，左右兩側對稱，呈長方形狀。從正面觀看議事堂，左側為眾議院，右側為參議院，而「議場」則分別位於左右兩側。相關建築資料及圖示請參見フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』網站，国会議事堂，網址：

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9B%BD%E4%BC%9A%E8%AD%B0%E4%BA%8B%E5%A0%82>，最後瀏覽日期：113 年 2 月 20 日。

衛職務，原則上兩者職務執行以議事堂內、外為界。有學者認為，議長警察權行使範圍僅限於議事堂及其附屬建築物，而不及於議員住宅或宿舍¹³。

(二) 對於議會進行中違反議事規則之議員或議院內犯罪者，議長均得行使警察權

依據日本國會法第 116 條規定，議員於議會進行中違反本法或議事規則，或有其他擾亂議會秩序或有損議院尊嚴之行為，議長得警告、制止或取消其發言。如仍未遵守命令，議長得禁止其發言或帶出議場外至當日會議結束；如會議持續至次日，則至會議結束為止¹⁴。因此日本國會警察權，是參議院及眾議院議長為維持議院秩序而命令衛視或警察採取回復議院紀律之措施；日本國會議員雖由國民選舉產生，於執行職務時如有違反議事規則之情事，議長得依國會法規定行使警察權加以制止。依參議院議事規則第 235 條及眾議院議事規則第 238 條¹⁵規定，對於議員不聽從議長制止或取消其發言之命令時，議長除得依國會法第 116 條處分外，另得移送紀律委員會議處。復依國會法第 122 條規定，處罰種類包含於公開議場告誡、於公開議場道歉、一定期間停權、除名¹⁶。

依參議院規則第 219 條及眾議院規則第 210 條¹⁷規定，對於議院

¹³ 松澤浩一，《議會法》，ぎょうせい，1987，頁 581。

¹⁴ 国会法第 116 條規定：「會議中議員がこの法律又は議事規則に違ひその他議場の秩序をみだし又は議院の品位を傷けるときは、議長は、これを警戒し、又は制止し、又は発言を取り消させる。命に従わないときは、議長は、当日の會議を終るまで、又は議事が翌日に継続した場合はその議事を終るまで、発言を禁止し、又は議場の外に退去させることができる。」

¹⁵ 參議院議事規則第 235 條規定：「(第 1 項)議長の制止又は発言取消の命に従わない者に対しては、議長は、国会法第 116 条によりこれを処分するの外、なお、懲罰事犯として、これを懲罰委員会に付託することができる。(第 2 項)委員長の制止又は発言取消の命に従わない者に対しては、委員長は、第 51 条によりこれを処分するの外、なお、懲罰事犯として、これを議長に報告し処分を求めることができる。」及眾議院議事規則第 238 條規定：「議長の制止又は取消の命に従わない者は、議長は、国会法第百十六条の規定によつてこれを 処する外、なお、懲罰事犯として懲罰委員会に付することができる。」

¹⁶ 国会法第 122 條規定：「懲罰は、左の通りとする。一、公開議場における戒告。二、公開議場における陳謝。三、一定期間の登院停止。四、除名。」

¹⁷ 參議院規則第 219 條規定：「議院内部において、現行犯人があるときは、衛視又は警察官は、これを拘束し、議長に報告してその命令を待たなければならない。但し、議場においては、議長の命令を待たないで、拘束することができない。」眾議院規則第 210 條規定：「議院内部において現行犯人があるときは、衛視又は警察官は、これを逮捕して議長の命令を請わ

內部現行犯罪者，衛視或警察應將其拘禁後，向議長報告並等待其指示命令。但於議場內，未經議長命令，不得實施任何拘禁。因此，各議院議長基於國會法規定擁有議場內拘禁現行犯之命令權。

（三）議長對於旁聽者或議員以外人士妨礙秩序行為之處理

依日本國會法第 118 條規定，旁聽者妨礙議場之議事進行，議長得令其離開，必要時得移送警察廳處理。旁聽席如發生騷亂，議長得令所有旁聽者離開¹⁸。同法第 118 條之 2 規定，二名議員以外之人妨礙議院內部秩序，議長得令其退出議院，必要時得移送警察廳處理¹⁹。

（四）結語

日本雖於國會法、參議院規則及眾議院規則內明定國會警察權行使之對象、要件及法律效果，但實務上議長動用警察權之實例並不多見。例如 1960 年 5 月「美日互助安全保障條約」新約送交眾議院審議批准時，議長對於佔領國會主席臺之在野黨議員發動警察權將其強行驅離²⁰。1997 年 4 月參議院院會審議「駐留軍用地特別措置法」時，議長對於妨害議會秩序之旁聽人士行使警察權²¹。由此可知，日本法律雖有完整國會警察權規範，但實務上動用國會警察權態度是趨於保守。

撰稿人：陳韋佑

なければならない。但し、議場においては、議長の命令がなければ逮捕することはできない。」

¹⁸ 日本國會法第 118 條：「(第 1 項)傍聴人が議場の妨害をするときは、議長は、これを退場させ、必要な場合は、これを警察官庁に引渡すことができる。(第 2 項)傍聴席が騒がしいときは、議長は、すべての傍聴人を退場させることができる。」

¹⁹ 日本國會法第 118 條之 2：「議員以外の者が議院内部において秩序をみだしたときは、議長は、これを院外に退去させ、必要な場合は、これを警察官庁に引渡すことができる。」

²⁰ 涂豐恩，那一天，他們衝進了國會-「安保抗爭」：日本二戰後規模最大的社會運動，關鍵評論，104 年 3 月 18 日，網址：<https://www.thenewslens.com/article/14131>，最後瀏覽日期：113 年 2 月 6 日。

²¹ フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』網站，議院警察權，網址：<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%AD%B0%E9%99%A2%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%A8%A9>，最後瀏覽日期：113 年 2 月 6 日。